

令和6年2月28日

保護者の皆様

千代田区立番町幼稚園  
園長 中村 千絵

## 令和5年度 千代田区立番町幼稚園 保護者アンケート結果報告

日頃より本園の教育活動にご理解ご協力いただきありがとうございます。

さて、先日、実施させていただきました幼稚園教育に関するアンケートにつきまして、ご協力をいただき、ありがとうございました。今回のアンケートから見えてきた課題をしっかりと受け止め、また、評価いただいている部分に関しても更なる充実を目指し、今後の教育活動に活かしてまいります。引き続きご支援、ご協力のほどお願いいたします。

### 【アンケート結果の概要と本年度の教育について】

○保護者アンケートについて、95%のご回答をいただきました。

- ・ 多くの保護者の方からご回答をいただいたことに厚く感謝を申し上げます。また、自由記述にたくさんご意見をいただきました。具体的なお提言もたくさんいただきましたので、極力、記載させていただきました。ご意見を可能な限り、取り入れながら、保護者の皆様とともに、幼稚園の教育を創ってまいります。

○全項目において、おおよそ90%以上の方からよくあてはまる、または、だいたいあてはまる、という評価をいただきました。

- ・ 幼稚園の教育について肯定的な回答をいただき、ありがとうございました。十分でないと感じているご意見を真摯に受け止め、改善に向けて努力してまいります。

○全項目の中で特に高い評価をいただいた項目は、項目11「自然環境とその活用」(とてもそう思う86%) 項目3「特色ある教育活動 えっ?面白い!創造」(とてもそう思う78%) 項目6「教育目標 考える子」(とてもそう思う75%)の3点です。

<自然環境> 今年度は、コロナ禍が明け、お米パーティーなどの収穫物による会食をにこにこグループ(年間を通した異年齢グループ)で行うことができ、植物の栽培や収穫の喜びを他の学年の幼児と共に感じる事ができました。また、植物の栽培の際に、より興味関心を引き出していくための環境の工夫も行い、幼児の発見や心の動きを引き出す事ができました。

※この実践は、「主体的に自分の考えを生み出す子どもを育てる」として、令和5年度ソニー教育財団保育実践論文において、奨励園賞をいただきました。

<特色ある教育活動 創造> 特に、好きな遊びの中で行われる「製作」が、幼児の育ちにつながっていることへのご意見をたくさんいただきました。

<教育目標 考える子> 今年度は、特に5歳児を中心に、「サークルタイム」として、「自分の考え」を学級の友達に伝え、学級で何かを考え、創り出していくことを大切にしてきました。友達の考えに触れることで、自分の考えが広がったり、深まったりする経験につながっています。

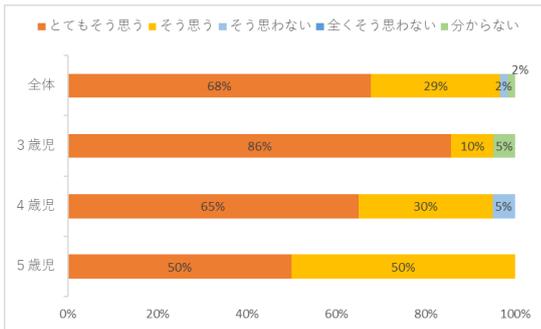
# I 令和5年度 幼稚園 保護者アンケート結果

回答者数  
59名/62名

A…とてもそうおもう B…そう思う C…そう思わない D…全くそう思わない ?…分からない

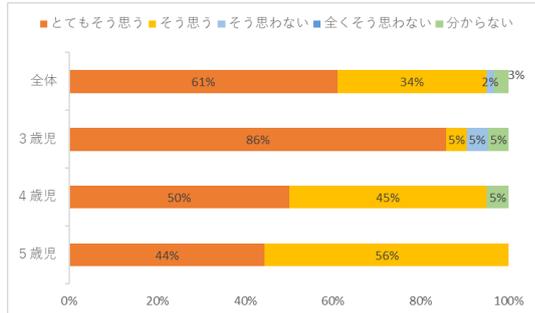
## I 指導の重点について

**1 特色ある教育活動「わあ！すごい！出会い」**  
これらの教育活動を通して、本物に触れる機会や多様な文化に触れる機会を大切に、豊かな感性や表現力が育まれている。



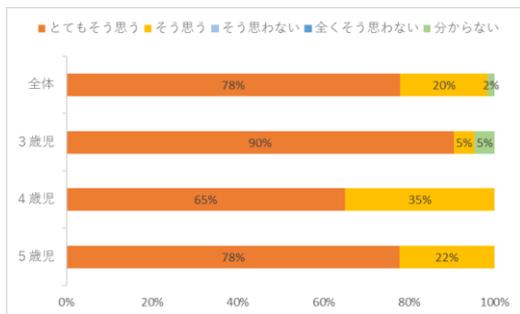
「イベントをきっかけに子どもの世界が広がっていることを感じる」「オタマジャクシを実際に池に捕まえに行く際は道具の選定、作成から始まり、実際に池にいる様子を見ながら、池に落ちることもあったり。素晴らしい体験に感謝している」など、特色ある教育での様々な講師との出会いや、番町幼稚園ならではの環境の中で子どもたちの経験を高く評価いただきました。劇団風の子の鑑賞のテーマについては「よりストーリー性のあるものもよいのではないか」というご意見もいただきました。参考にさせていただきますながら、来年の演目についても検討していきます。

**2 特色ある教育活動「へえ！そうなんだ！共感」**  
これらの教育活動は、保護者や地域の力を活用したり、共に経験したりすることで、社会に開かれた教育活動が展開されている。



「親も楽しんでいます！親も時に子ども心に戻って子どもと一緒に目いっぱい楽しませていただいています」「子どもにとって、一番甘えたい時期だけど幼稚園に行き、社会を学び、その中で親との関わりがある事は、安心や自信にも繋がると思う」と保護者の皆様との行事や、幼稚園で集団生活をするこの意味などに触れていただき、温かいご意見を数多くいただきました。次年度も保護者の方も一緒に楽しみながら保育を進めていくことができるよう努めてまいります。

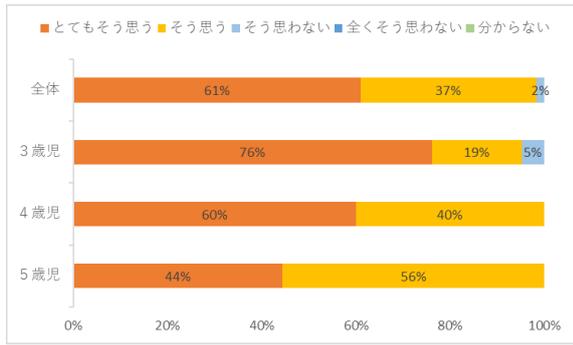
**3 特色ある教育活動「えっ！？面白い！創造」**  
これらの教育活動を通して、子どもたちは、多様な体験の中で、十分に考えたり試したり、創り出したりする楽しさを味わっている。



「製作コーナーが充実していて、毎日自分の思いを形にすることの経験の積み重ねが、子どもの遊びの幅を広げてくれていると感じている」「持って帰るものから、自由な発想で考えて遊んできていることが伝わる」と、どの学年の保護者の方からも肯定的なご回答をいただきました。一方で「番町ラボ」については分からない部分もあるという御意見もいただきました。今年度から始まった活動の一つですので、次年度の取り組み方について計画をしているところです。

#### 4 保護者と共に子どもを育てる『共育』を進める

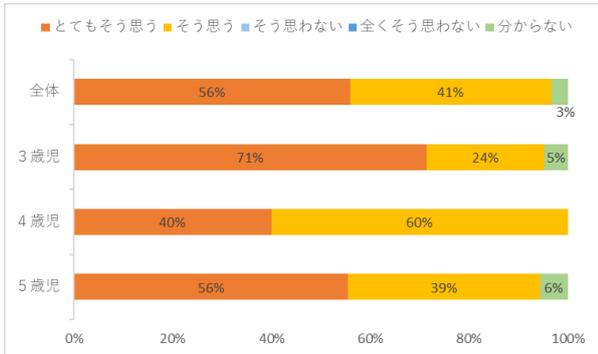
園は分かりやすく子どもたちの様子を伝え、情報を共有することで、保護者の皆様と一緒に子どもたちを育もうとしている。



「日々の降園連絡や学年だよりなどから普段の様子を共有できているように思う」とご回答をいただく一方で、「もう少し写真や日々の様子が知りたい」「園公開を増やしてほしい」と感じている方のご回答もありました。降園時にその日の学級活動の内容や、お子様の様子をお伝えしていきます。また各学年の写真掲示の回数を増やしてまいりますので、降園連絡の掲示板をご覧ください。保育の様子につきましては、学期に2回程度参観の機会がございますが、必要に応じて担任へご相談ください。

#### 5 地域と共に子どもを育てる『共育』を進める

園は、地域の行事に積極的に参加し、地域の人材や教育資源を活用しながら、地域の皆様と一緒に子どもたちを育もうとしている。



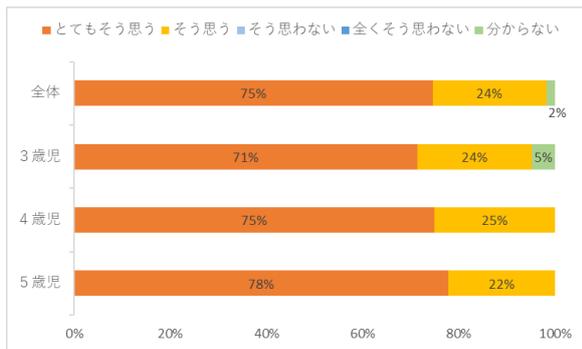
「番町子ども会や、獅子舞、ここでしか体験出来ない事がある。幼稚園外の地域の人たちと関わる経験ができた」など、熱い思いが伝わるご回答をたくさんいただきました。今後も番町幼稚園ならではの共育を進めてまいります。また「公立幼稚園の意義として地域の交流イベントがもっとあっていいと思う」というご回答からも園の事を考えてくださっている思いが伝わりました。学校運営連絡会などの機会に、地域の方に保護者の思いとしてお伝えしてまいります。

#### 6 教育目標「考える子」

③お子さんは、園生活を楽しむ中で、好きな遊びを見付けて、自分で考え取り組んでいる。

④遊びの中で工夫したり、試したりすることを楽しんでいる。

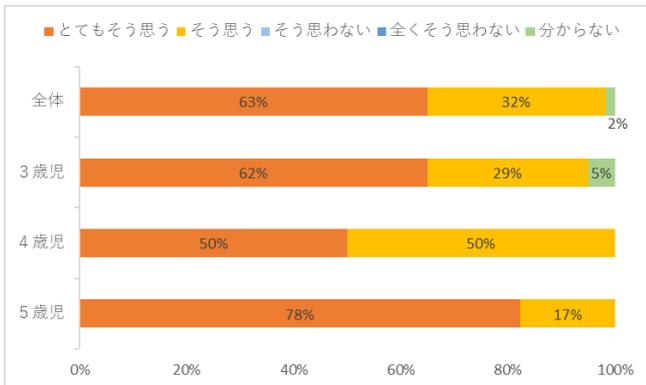
⑤行事や遊びの中で、自分の考えをもち、目的に向かって力を発揮しようとしている。



「子どもの考えを尊重してくれる先生方がいるので、それをできていると感じている。」「本人が好んで遊ぶことを先生方が応援してくださったおかげだと思う」「まずは、子どもがしたいことを話し合ってから、物事を決めるという流れが、考える力に繋がっていると思う」といった温かいご意見をいただきました。今後も子どもが、自分のやりたいことの実現のために、自分の思いをめぐらせ、思考錯誤していく経験を大切にまいります。

## 7 教育目標「思いやる子」

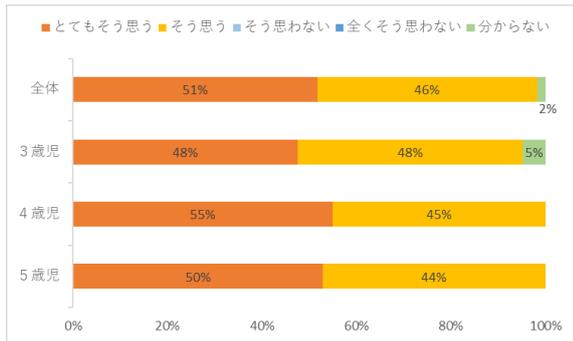
- ③先生や友達と遊ぶことを楽しむ中で、自分が大切にされていることを感じている。  
 ④友達との考えや気持ちの違いに気付きながらも、遊びを楽しみ、自分の思いを相手に伝えている。  
 ⑤自分の思いを伝えるとともに、相手の気持ちを理解し、相手を大切にしようとする気持ちをもって、友達との遊びを楽しんでいる。



「自分以外の人にも気持ちがある事に気が付き始めているのを実感する」「お友達が大好き、先生が大好きという気持ちは、自分が周りの人に助けられ、応援されたり、優しくしてもらったりして身に付いてきているのだと感じられる」といったご意見や、子どもたち同士の関わりで保護者の方にご心配をおかけしていることが伝わるご意見もいただいております。自分と相手は違う気持ちや考えをもって遊ぶ中で感じ、葛藤しながら相手の気持ちを尊重できるようになっていく過程で、ご心配をお掛けすることもあるかもしれません。お気付きになったことや、ご不安なことがありましたらいつでも教員にお伝えください。

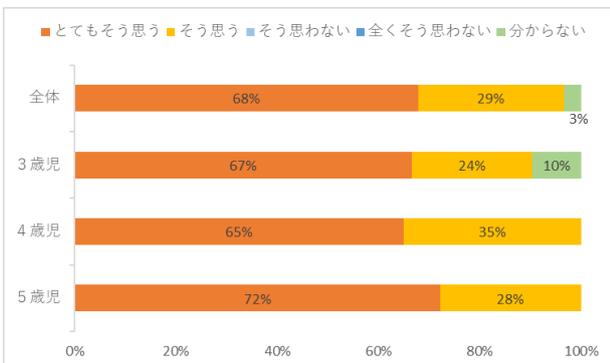
## 8 教育目標「やりぬく子」

- ③遊びや生活の中で、「自分のことは自分でする」ことが分かり、自ら遊ぶようとしている。  
 ④自分でやりたい遊びを見付け、遊びを実現するために、あきらめずに取り組もうとしている。  
 ⑤少し難しく感じられることに対しても、挑戦しようとする気持ちを持ち、自ら取り組もうとしている。



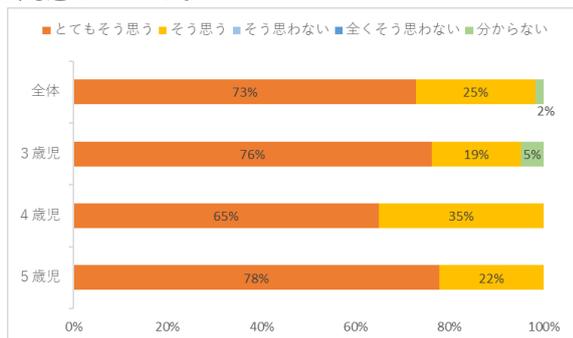
「先生方の環境設定が素晴らしく、全てを援助するのではなく、子どもたちが自分で考えられる様に工夫されている」「園でこのテーマに向き合っていただくだけでなく、認めてくださることは大きな財産になると思う」等のご意見をいただきました。また、「まだ難しいことは諦める傾向にあります」というご意見もいただきましたが、引き続き、年齢発達や、一人一人の子どもに合った方法で、子どもたちの「最後まで諦めずやりぬく力」を育ていけるように努めてまいります。

## 9 園は、一人一人の子どもの思いや行動を受け止めようと努め、子どもたちが安心して自己を発揮できるよう、温かく指導・援助している。



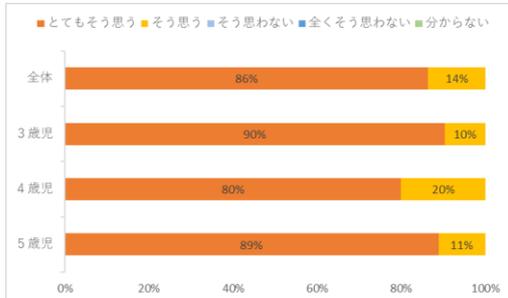
「子ども劇場などを拝見し、子どもたち個々の輝きを大切にしてくださっていると感じる」「自分が認められているという実感がある。本人、親としてもとても幸せなこと。個性を認められている自信から積極的に楽しく活動できていると感じる」といったご意見をいただきました。今後も一人一人が自己を発揮することができるよう指導・援助の工夫に努めてまいります。

10 園は、子どもたちが主体的に遊びに取り組めるよう、自然の不思議さと出会う環境、製作等の表現が楽しめる環境、イメージをもってごっこ遊びが楽しめる環境を用意している。



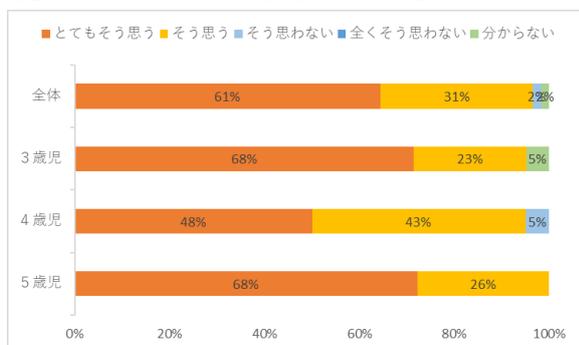
「先生方が子どもの“やりたい！”を大切にしてくださいって環境を整えてくださっているのがよく分かる」「先生方が子どもが思い切って遊べるためには何が必要かを常に考えて、その必要な物を用意するために努力してくださっていることをとてもありがたく感じている」といったご意見をいただきました。今後も子どもたちの経験を支える環境の充実に努めてまいります。

11 園は、子どもたちが季節を感じ、豊かな自然環境に出会い、不思議に感じ、親しみの気持ちをもちながら世話をしたり、疑問に思ったことを考えたいような環境を用意している。また、栽培物を調理し、みんなで食すことを通して、収穫の喜びを感じられるような指導をしている。



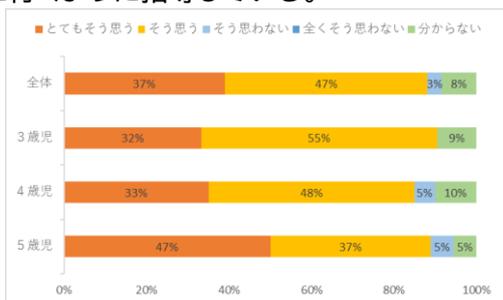
「季節のお花や野菜を身近に感じていると思います」「家では嫌がって食べない野菜も、自分たちで栽培しみんなで食べると美味しくなり、家庭でも同じように調理して食べられるようになりました」「ホワホワには親子でたくさん学ばせていただいております。子どもがアヒルに触れることは凄い事だと思います」等のご意見をいただきました。日頃より、ホワホワのお世話ボランティアへのご協力ありがとうございます。

12 園は、多様な体の動きを経験し、主体的に体を動かして遊ぶことを楽しんだり、バランスの取れた心身の発達を促したりするように指導している。



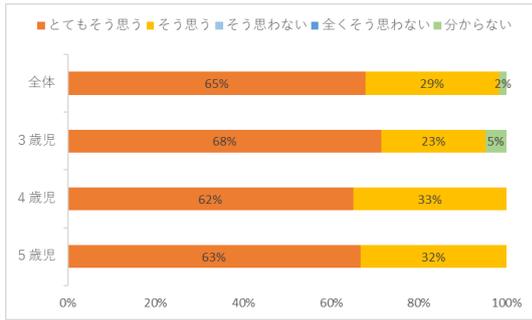
「毎日のスポーツタイムで、朝に思いきり体を動かす時間があり、とてもよい」「小学校の校庭も広く使えて、思い切り走れるので、体を動かすのが大好きな我が子に合っている」等のご意見をいただきました。「コーディネーショントレーニングはとてもよさそうなので、講師の先生が来ない時にも、毎日のルーティンに入れたらよいと思った」というご意見もありました。コーディネーショントレーニングは断続的に行うことで効果が表れるそうです。現在は、講師の先生に来てもらった後の一週間を、コーディネーション週間として学級の中で取り組んでいます。

13 園は、互いの違いに気付いたり、諸外国の文化や多様な価値観に触れられたりするような環境設定や援助をし、子どもが受け入れ合い、認め合う態度や人権感覚が身に付くように指導している。



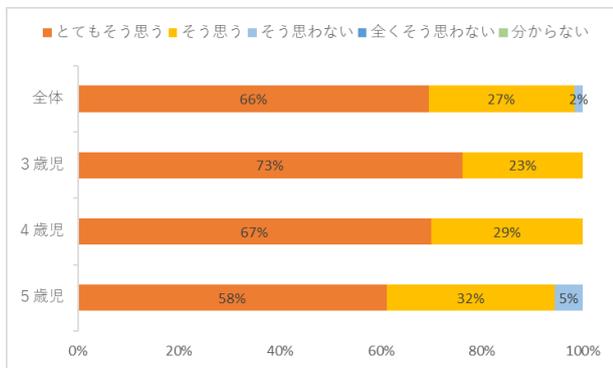
「英語を取り入れたり、日本の伝統的な楽器に触れたりと様々な国があることを教えてくださったり、パラリピアンの方との触れ合いがあったりと多様性に触れることが出来たと思う」というご意見をいただいた一方で、「もう少し海外の文化や人々に触れる機会があると嬉しい」「アジアや先進国以外の文化に触れるのも大切だと思う」というご意見もいただきました。諸外国の文化に関する掲示を行う等、多様な価値観に触れることのできる環境を整えてまいります。

14 園は、併設する施設(校庭や講堂等)を有効的に活用したり、小学生との交流を計画的に実施し、小学校への円滑な接続のための連携を図ったりしている。



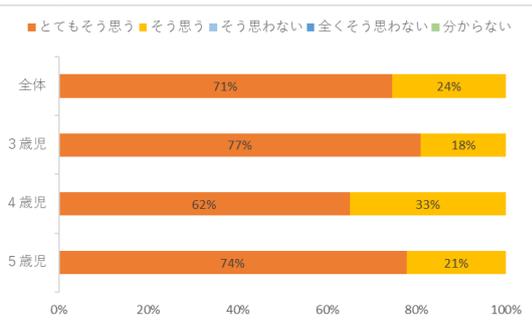
「小学校の設備を使用できるのはありがたい」「小学生との触れ合いをとても楽しみにして過ごしている」「小学生との交流の頻度をもう少し増やしてほしい」等のご意見をいただきました。小学生との交流は、3年間で同じ学年同士が交流することで、安心して関わったり、年下の子の発達段階を理解して交流できるようにしています。交流時期や回数に関しては、小学校の教員とも話し合いながら計画しています。今後も、互いに有意義な交流となるよう、内容や実施方法の工夫などに努めてまいります。

15 園は、毎月の避難訓練や、麹町警察等と連携した安全指導を実施し、安全のために必要な習慣や行動を身に付け、自分の身を自分で守る力を育てる教育をしている。



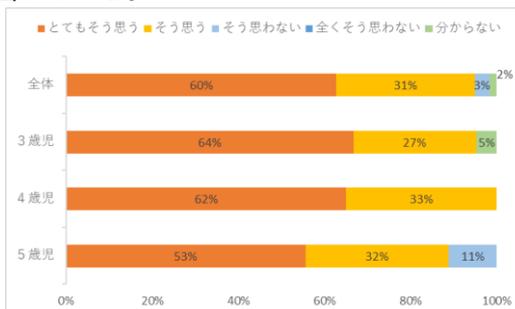
「様々なケースでの避難訓練で、子どもたちにどのような行動をすべきかが染み付いている」「家庭ではできない訓練を定期的に行っていただき、感謝している」等のご意見をいただいた一方で、「避難訓練の具体的な様子などを写真などで見せただけだと分かりやすく、ありがたい」というご意見もいただきました。避難訓練時の写真や、災害時の対応の仕方について、写真掲示などで保護者の方にもお伝えできるよう取り組んでいきます。また、道路での立ち話など、登降園時の子どもの安全を心配される声がありました。子どもたちに交通安全について繰り返し指導するとともに、保護者の方も確認をしていただけたらと思います。降園後にお話をされたい場合は、絵本の部屋をぜひご活用ください。

16 園は、幼稚園だよりや学年だより・保護者会・掲示板を活用した活動の様子の掲示等、教育方針や子どもたちの様子を分かりやすく伝えている。



「教育方針に基づいた活動の様子を写真付きで見ることができ、分かりやすい」「日々の園児の行動、会話の内容などまで記載して下さるため、子どもたちの成長ぶりがよく分かる」というご意見の他、「文章が長すぎて読むのに疲れる」というご意見もいただきました。特にすぐる配信の手紙に関しては、スマートフォンでも読みやすい形式や内容になるよう、配慮してまいります。また、そら組を利用される保護者の方から、「降園連絡が聞けないのがもどかしい」というご意見がありました。降園連絡の紙に、丁寧に記入するとともに、写真掲示の回数も増やしてまいります。

17 園は、「にこにこ図書」や「愛児会報そらにむかっの発刊」等の活動に協力し、子どもにとっても保護者にとっても、園生活が充実したものとなるよう、愛児会と連携を図っている。



「役員の方が無理なく、意見なども取り入れてくださり、工夫して活動出来ていると感じる」とご意見をいただきました。一方、「にこにこ図書の日にそら組を利用すると、親がその時間に行けなく借りられないため、改善していただきたい」というご意見がありました。月に1度程度、そら組のない水曜日にも実施しておりますので、その機会にぜひご利用ください。また、図書教養部の方がにこにこ図書開館日には、返却BOXも設置しておりますので、ご活用いただければ幸いです。

<p>18</p> <p>預かり保育に対する感想・意見等</p>	<p>&lt;申込方法について&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「予約後、入力した日付を確認できるようなシステムがあったら便利」とのご意見が複数ありました。昨年度も同様のご意見があり、運営会社に伝えましたが、現時点では予約締め切り日を過ぎたものは見返せるシステムがないようです。今後も、お手数ではございますが、申し込みをしましたら、カレンダーなどに書き写すか、スクリーンショットを撮るなどしてご対応ください。また、園にご連絡くだされば、申込日を確認いたします。</li> </ul> <p>&lt;運営内容について&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「預かってもらえるところがない時、とても助かる」「子どもは楽しく過ごさせているようで、とても助かっている」「現状で満足している」というご意見を多くいただいている一方で、「時間がもっと長くなると助かる」「夏休みの預かり保育日を増やしてほしい」「定員を増やしてほしい」というご意見も複数いただいております。千代田区の方針により、預かり保育の拡充、延長は行わないということに従いつつも、保護者の方からのご意見を教育委員会に伝えていきます。</li> </ul> <p>&lt;保育内容について&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「学年を超えた友達との交流や、日頃クラスでは遊ぶ機会が少ない友達との交流ができるようで感謝している」「おやつタイムも含めて、先生とずっと楽しく過ごしていると嬉しそうに話してくれる」など温かいご意見を多数いただきました。今年度は、大学講師の方などにそら組の様子について見ていただき、教師が指導を受ける機会を設け、保育内容や方法について工夫をしまいいりました。今後も、教員みんなで保育の資質を高めていけるように工夫をしまいいります。</li> <li>・「環境的に難しいかもしれないが、外遊びもできるといい」「体を動かす活動を取り入れてほしい」というご意見もいただいております。現在も、水曜日など預かり時間が長い曜日は、砂場や冒険ジムなど外で遊ぶ時間を設定していますが、なかなか実施できていない現状もあります。教員内でも安全に体を動かして遊ぶ環境の工夫ができるよう検討をしているところです。</li> <li>・「そら組で、どのような活動をしているのか、写真で見られると嬉しい」というご意見を複数いただきました。預かり保育でどのようなことをしているのか、学期に一度の写真掲示などで、教育の価値を伝えることができるような工夫をしていきたいと思っております。</li> </ul> <p>&lt;その他&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「幼稚園のいいところは保護者が顔を合わすことだと思うので、月に何度か預かり保育なしの日を設定してもいいのではないかと感じる。預かり保育がない日は、保護者同士であることができ、ピロティが賑やかだなと感じる」というご意見をいただきました。園としては、できる限り預かりの可能な日は実施するよう考えておりますが、親子での行事や、懇談会など保護者同士が顔を合わせる機会を大切にしまいいります。</li> </ul>
<p>19</p> <p>その他幼稚園に対する意見</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「小学校の給食室を利用して給食を導入してほしい」とのご意見をいただきました。給食は、児童と幼児でメニューが異なるため併設する給食室を利用することはできません。保護者の方からのご意見があったことを教育委員会に伝えていきます。</li> <li>・「冬の間、お弁当の保温庫の使用を検討してほしい」とご意見をいただきました。保温庫は、衛生管理上や耐熱対応の弁当箱への変更が必要であることなどから、現在は検討していません。ただ、スプーンジャの利用など、お子さんの実態などから担任にご相談いただければと思います。</li> <li>・「降園後、道路で立ち話をしている方がいて危険なことが多い。園内に保護者が話せるエリアを作るのはどうか」とのご意見をいただきました。道路でお話される場合は、他の方の迷惑にならない場所で、お子さんから目を離さないよう、お願いいたします。また、子どもたちにも、道路では遊ばないこと、おうちの人が見えないところには行かないことなどを繰り返し指導してまいります。週に1度のここにこ図書館の機会他、降園後に絵本の部屋をご活用いただくことも可能です。ご遠慮なくお申し出ください。</li> <li>・「使わなくなった子ども服、本、雑貨などを提供（リサイクルデー）などの企画ができたら嬉しい」とのご意見をいただきました。園では、貸し出し用の服や上履きなど利用できるものに関してはご寄付いただくと助かります。また、愛児会にリサイクルデーなどの取組についてご意見があったことをお伝えします。</li> <li>・「幼稚園が大好き！早く幼稚園行きたい！と楽しく通わせてもらえて、本当に感謝している」「年間を通して様々な経験をさせてもらっている」など、温かいご意見を多数いただきました。今後も園の教育の質を高め、保護者の方と一緒に子どものために努めてまいります。</li> </ul>

## Ⅱ 今年度の課題と次年度の方策について

保護者による教育アンケートおよび職員自己評価を基に、番町幼稚園の伝統と文化を引き継ぎ、「一人一人の子どもが輝き学びを深める幼稚園」であるよう、以下のように、改善してまいります。

<番町幼稚園の教育のよさと魅力を向上させるために>

- **好きな遊びの中で、一人一人が「何に関心を持ち、何を探求し、何を学んでいるか」についての理解をより深めてまいります。**

<理由> ・従来より、一人一人の子どもにしっかりと視点を当て、遊びの中で何を楽しみ、学んでいるのかについての実践を深めてまいりました。私たちは、このことの重要性を再確認し、今まで以上に、遊びの中での一人一人の学びを読み取り、支えてまいります。

<改善点> ・今年度より、千代田区研修指定園として、「主体的な遊びの中での学び」について、園内において研究を進めているところです。次年度はより実践を充実させ、教育の質の向上に向かいます。なお、この実践については、令和7年2月24日に保育公開・発表をする予定です。

- **「主体的な遊び」を充実するための環境を見直してまいります。**

<理由> ・今までの環境をよしとせず、より質の高い学びにつながる環境になっていくよう改善してまいります。

<改善点> ・今年度より、イタリア レッジョエミリア市で活躍されているアトリエスタをお呼びし、「番町ラボ」として、新しい「創造の場」の環境の工夫を始めているところです。光なども素材として取り入れ、教師自身が学び、子どもと共に、「好きな遊び」のための豊かな環境を創り上げていきます。

<番町幼稚園の教育を広げるために>

- **「幼児期におけるグローバル教育」を実施します。**

<理由> ・例年、保護者評価において、「互いの価値に気付き、諸外国の文化や多様な価値観に触れる」の項目について、「もう少し海外の文化に触れてほしい」「英語講師が年数回であることは物足りない」というご意見をいただいております。

・小学校の英語科が始まるに当たり、小学校教育の前倒しではなく、幼児教育において、できることがあるのではないかと考え、今年度9月より「幼児期におけるグローバル教育」の試行を始め、令和6年度より本格実施が可能となりました。

<改善点> ・幼児期において、まず、日本語だけではなく、様々な言語を使っている人と触れ合うことが「多様な他者」への理解につながると考えます。毎週、特定の曜日に外国語講師が来て、生活の中で子どもたちと一緒に過ごすことで、言葉が通じなくてもコミュニケーションを取ろうとする経験、外国語が身近に感じられる環境を創生してまいります。

- **地域の幼児教育施設や小学校と一緒に、番町幼稚園の教育の質を高めていく「ふらっと番町」（地域教育施設への保育公開）の実施。**

<理由> ・地域の公立幼稚園として、地域全体の教育の質の向上の要（かなめ）となることが、本園そのものの教育の質も向上につながると考えます。

<改善点> ・本年度、試行として、地域の幼児教育施設、区内小学校の教職員が共に学ぶ「ふらっと番町」を行いました。（保育時間の変更へのご協力、ありがとうございました）他の幼稚園や保育園、小学校の先生と共に、本園の子どもたちの学びについて考えることは、「地域で教育を考える場の提供」だけでなく、指導方法や環境について、見直す良い機会となりました。令和6年度は、本園の教育に戻ってくるような仕掛けをより工夫し、年間3回実施いたします。

### Ⅲ 園運営連絡会による協議結果について（学校関係者評価）

令和6年2月16日（木）に、評価委員13名の皆様（うち5名はご欠席）により、番町幼稚園運営連絡会を実施し、保護者アンケートの結果および今年度の課題と次年度の方策について、説明申し上げ、以下のようなご協議をいただきました。この結果を令和6年度の教育に生かしてまいります。

#### ○ 本年度の教育について

- ・毎年、教育内容が充実しているのを感じる。番町幼稚園に通っている子どもと保護者は幸せだと思う。
- ・アンケートの13番「互いの違いに気が付き、受け入れる」身に染みる言葉である。話す言葉や肌・髪・目などは、違いを認識しやすい。しかし、同じように見える同じ言葉をしゃべっている人たちにもそれぞれの違いはある。目には見えない、例えば、考えの違いなどに気付けるようになってほしい。そういう意味では、番町幼稚園の「子どもたちが話し合い、自分の考えを友達に伝える」経験は素晴らしいと思う。園長の話の中で、「自分の考えが通らない経験もある」とあった。もちろん大切な経験ではあるが、子どもにとっては、トラウマになる程の大きなことである。このことへの丁寧なフォローをお願いしたい。
- ・幼稚園の新しい挑戦には価値があるが、今までの番町幼稚園の教育も大切にしてほしい。特に、日本の伝統文化や地域の文化に触れられることは大きい。我が子は修了生であるが、1月になると、「ああ、幼稚園では、凧あげをしているかなあ。獅子舞を作っているのかなあ」と言う。番町幼稚園の3年間で、培われた基礎が、わが子たちの中に息づいている。
- ・世の中では、小学生がインターネットで、短い動画を見ていることが多く、集中力が短くなっている傾向にあると言う。しかし、幼児期にひとつのことにじっくり取り組む経験をしている子どもには集中力が培われている。幼稚園の興味関心を高める活動がよいと感じる。

#### ○ 次年度の教育について

- ・「幼児期におけるグローバル教育」については、内容をしっかり精査してほしい。幼児期の英語教育については、問題点も多いと聞いている。日本語をしっかりと学ぶ時期である。必要なのは、多様な文化や言葉に触れることである。イタリア、レツジョエミリア市からの講師の話もあり、近くには、スペイン関係の施設や東京中華学校もある。英語教育ではない、グローバル教育も目指してほしい。
- ・幼児期は「耳」が育つ時期である。いろいろな言葉に触れ、いろいろな音楽に触れる機会を引き続き、大切にしてほしい。
- ・生活の場面で海外の人と触れ合える経験はとてもよいと思う。町を歩けば、海外の人とすれ違うことが当たり前前の時代であるので、英語を話せるようになるということではない、誰とでもコミュニケーションが取れる人になってほしい。